

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

日本語版 Ripost40 の信頼性・妥当性の検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 4 月 31 日までに昭和医科大学病院附属東病院精神神経科を受診した患者さん
2. 研究目的・方法 現在、感情調節障害 (Emotional dysregulation :ED) は、精神医学、心理臨床、教育などの分野で注目されています。しかし、感情調節障害は幼少期から成人に至るまで存在し、関連性・重要性の高い概念ではあるものの、「命名法、定義、表現いずれにおいても多様性を示している (Marwaha, 2013)」ことが指摘されています。感情調節障害は多次元の概念であるため、その次元を評価可能なスケールが望まれていました。そこで、RIPoST - 40 では、反応性、強度、極性、安定性の評価が可能となっており、さらに ADHD における感情調節障害も対象に開発されている質問紙となっております。ADHD の感情調節障害は、ADHD の中核症状とも言われており、それらの測定も可能である RIPoSt スケールは、今後の臨床において非常に有用である可能性が高いと考えられます。そのため、本研究においては、日本語版 RIPoST - 40 の信頼性・妥当性を調査し、今後の臨床研究に役立てていくことを目的とし実施する予定となっております。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2030 年 4 月 1 日まで。
4. 研究に用いる試料・情報の種類 ・ RiPosT40 日本語版 ・ EAQ ・ TEMPS - A 日本語版

- ・ ASRS
- ・ CAARS
- ・ AQ
- ・ JART25
- ・ BSDS
- ・ HAD

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和医科大学附属東病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和医科大学附属東病院精神神経科からお茶の水女子大学大学院人間文化創成研究科の研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6. 研究組織

研究代表者 昭和医科大学病院精神神経科 公認心理師 對馬早希子

個人情報管理責任者 昭和医科大学 保健管理センター 教授 岡島 由佳

共同研究機関（研究責任者）：

お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 准教授 伊藤 大幸

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：昭和医科大学病院附属東病院 精神神経科 對馬早希子

〒142-0054 品川区西中延 2-14-19

TEL：03（3784）8567（平日 8:30～17:00，土曜 8:30～13:00）

公認心理師「^{つしま}對馬」をお呼びください。